

日本アディクション看護学会 News Letter 第23号

2014年6月1日発行
日本アディクション看護学会事務局

日本アディクション看護学会 第13回学術集会開催に当たって
第13回学術大会大会長 近藤 千春（藤田保健衛生大学・医学部看護学科准教授）



藤田保健衛生大学外観

この度、藤田保健衛生大学におきまして第13回日本アディクション看護学会・学術集会を開催する運びとなりました。開催地となる愛知県には、本邦におけるアルコール・薬物依存症の当事者活動運動の草創期にあたる1985年に名古屋マックが、1989年に名古屋ダルクが開設されています。また依存症の家族の活動も、薬物依存症の家族が全国に先駆けてNPO法人として活発



藤田保健衛生大学・医学部看護学科准教授
近藤 千春

な活動を展開しています。これら依存症からの回復のために積極的に取り組んできた当事者や家族からは、保健・医療機関に対して一層の協力や支援を望む声がしばしば聴きかれます。

そこで、当事者活動と保健・医療機関とのさらなる連携という観点から、本学会のテーマを「当事者から学ぶアディクション看護」とし、支援を受ける対象となる当事者の意見を参考に、第13回日本アディクション看護学会を準備してきました。

本年は、国の依存症治療対策が大きく変わろうとしている年だと言えます。

本年1月末に厚生労働省が公開した全国厚生労働部局長会議（平成26年1月21・22日開催の厚生分科会）資料のうち「依存症対策について」の項目の中には、これまでの取り組みをふまえて平成26年度からモデル事業として「依存症治療拠点機関設置運営事業」を新たに実施することが計画されています。この事業計画には「『依存症治療拠点機関』を5箇所程度指定し、依存症に関する専門的な相談支援、自治体を含む関係機関や家族との連携・調整等を試行的に実施する」ことや、「依存症治療を専門に行っている医療機関を『全国拠点機関』として1箇所指定」し、今後の依存症の治療・回復プログラムや支援ガイドラインの開発や支援体制のモデルの確立を図ることが挙げられています。また平成26年度の厚生省の予算要求では、「薬物などの依存症対策の推進」として57百万円が挙げられています。これは事業を行う自治体に対して、毎年度当初に「地域依存症対策支援計画」を策定し事業を実施することや、依存症者の社会復帰支援を強化するための相談支援や関係

者および依存症家族への研修を行うことを求めるものです。

こうした国の依存症治療対策の流れを受け、私たち看護職にもアルコール・薬物依存症者への援助をはじめ、様々なアディクション問題を抱える人たちへの援助に必要な知識やスキルが求められていると考えます。これまでアディクション問題に関心をお持ちではなかった看護職の皆様も、本学会への参加を通して、援助の専門家としてアディクション関連問題の援助に求められる知識やスキルを共に考えて頂けることを切に願っております。



【9月20日のプログラム】

1)大会長講演：

「教育・連携・そして…当事者から学ぶアディクション看護」

演者：近藤千春大会長
藤田保健衛生大学・医学部看護学科准教授

2)基調講演：

「自己治療仮説」からみたアディクション」

演者：松本俊彦先生
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部診断治療開発研究室長、自殺予防総合対策センター副センター長

3)教育講演：

「刑の一部執行猶予の下で保健医療におけ

る援助はどう変わるか」

演者：伊藤邦彦先生

飛鳥總合法律事務所所長 弁護士

4) シンポジウム

「依存症本人にとってのリカバリー」

薬物依存症の当事者、アルコール依存症の当事者、薬物依存症の家族によるパネルディスカッション形式により依存症の当事者にとっての回復とは何か考える。

5) ワークショップ

①「アルコール問題と介入法アルコール問題と介入法～SBIRTを取り入れよう～」

刈谷病院の医師によりアルコール依存症者への介入法が紹介されます。

②看護師の『体験グループ』

依存症患者を支援する看護師の分かち合いグループ。

【9月21日のプログラム】

1) シンポジウム

「児童虐待とアディクション問題～子ども・家族の視点から～」

児童虐待の問題についてアディクション問題の視点から捉えます。虐待を受けた児童を長年支援してきた専門家や虐待を受けて育った薬物依存症の当事者等により、アディクション問題と児童虐待についての討論が行われます。

2) ワークショップ

①アディクション看護のための「動機付け面接」の基礎講座

動機づけ面接のトレーナーの資格を持つ看護師による講義と演習が行われます。

②当事者から学ぶ SMARP の実践

クリニックで行われている SAMRPP のモデルミーティングが行われます。ミーティング後は、SMARPP の実践する中で抱え

ている問題を出し合い解決の方策を検討します。

3) GA (ギャンブラーズ アノニマス) モデルミーティング

ギャンブルの当事者のモデルミーティングが行われます。

4) 演題発表

以上2日間の主な内容です。

詳細は第13回日本アディクション看護学会 HP をご覧ください。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/~13addict/>

学会に参加された皆様が「参加して良かった」「新たな気付きがあった」と言ってもらえるよう、実行委員一同取り組んでおります。多くの方がご参集下さることを望み、ご参加をお願い申し上げます。



●名鉄バスは、「前後(藤田保健衛生大学病院経由)」行きにご乗車ください。

「日本精神保健看護学会第 24 回学術集会」ご参加へのお誘い

日本アディクション看護学会 理事長
松下 年子

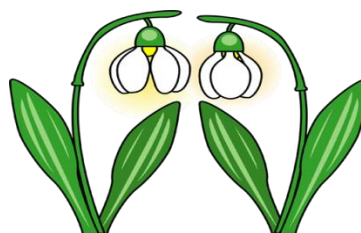
2014年6月21-22日、日本精神保健看護学会第24回学術集会を横浜市立大学金沢八景キャンパスで開催いたします。大会テーマは「嗜癪を知って看護に活かすー精神保健看護とアディクション問題ー」です。日本アディクション看護学会の、これまでの13年間にわたる活動成果の影響もあったのではないかと思います。現代社会においてアディクションとアディクション看護への関心が、益々高まっていることを示唆していると捉えております。直近のご案内となってしまう誠に恐縮ですが、日本アディクション看護学会第13回学術集会(大会長：近藤千春先生)とともに、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。以下、日本精神保健看護学会第24回学術集会のプログラム内容について、ご紹介させていただきます。

基調講演には、ナースプラクティショナー(NP)の教育やアディクション看護研究でご活躍されている Diane Snow 先生(テキサス大学教授)をお招きしております。Snow 先生からは、アディクションや重複障害を抱えた方の回復を促すためのケアや、ケアを統合していくイニシアチブについてご講演いただきます。

またシンポジウムでは、「精神保健看護における先駆的実践と将来展望」をメインテーマとして、各シンポジスト、渡辺純一先生(公益財団法人井之頭病院精神看護専門看護師)、白井教子先生(北里大学病院精神看護専門看護師)、増子徳幸先生(訪問看護

ステーション ACT-J 管理責任者)、田上美千佳先生(東京医科歯科大学大学院教授)よりご講演いただきます。特にアディクションに焦点化した内容ではありませんが、精神看護の先駆的活躍や展望について、斬新なお話しをうかがえるものと思っております。

さらに**特別講演**では、昨年の日本アディクション看護学会第12回学術集会でご講演いただいた斎藤環先生(筑波大学大学院教授)にご登壇頂きます。タイトルは、「現代人が抱える依存性」です。ひきこもりや自傷、ネット依存やギャンブル依存などを含む現代の若者の「承認」依存と、その背景にある社会病理についてご講演いただきます。昨年のご講演も、大変興味深いお話で魅了されましたが、今回はアディクションにさらに特化したところで、貴重なお話しを伺えるものと思っております。



他にも、ランチョンセミナーとして、以下の5プログラムを予定しております。

①「うつ病・および双極性障害の病態・診断・治療：看護師に期待される知識と実践」演者：平安良雄先生

(横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門主任教授) 座長：遠藤恵美先生(横浜市立大学附属市民総合医療センター精神看護専門看護師)(大塚製薬株式会社共催)

②「行動制限の現状と課題」

演者：吉浜文洋先生

(佛教大学保健医療学部看護学科教授)

座長：日下修一先生(聖徳大学看護学部看護学科教授)(特定医療法人芳生会保土ヶ谷病院共催)

③「精神科病院で看護管理者に求められていること」

演者：坂田三允先生

(元医療法人社団新新会多摩あおば病院看護部長)

座長：篠原百合子先生(東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科准教授)

(東洋羽毛首都圏販売株式会社共催)

④「超音波診断法のエビデンスに基づくより安全で副作用の少ない持続性注射剤の筋肉注射の方法」

演者：谷岡哲也先生

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部看護学講座看護管理学分野教授)

座長：辻脇邦彦先生

(埼玉医科大学保健医療学部看護学科准教授)(ヤンセンファーマ株式会社共催)

⑤「患者の力；患者学が見つけた医療の新しい姿」

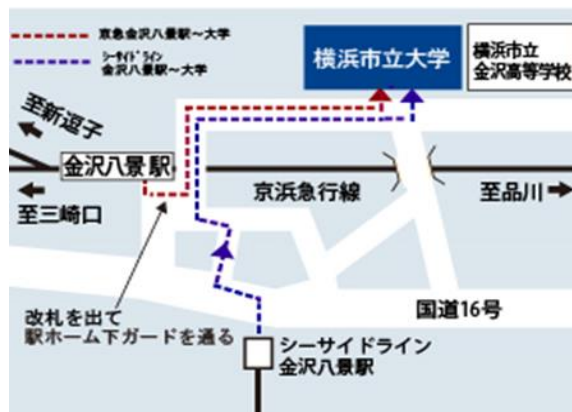
演者：加藤眞三先生

(慶應義塾大学看護医療学部教授)

座長：五十嵐愛子先生(創価大学看護学部看護学科教授)(特定医療法人芳生会保土ヶ谷病院共催)。

他にも、一般演題やワークショップ等、盛りだくさんのプログラムを用意しておりますので、是非、楽しんでいただければと思います。横浜市立大学金沢八景キャンパスの周辺には、少し足を延ばしていただければ「横浜・八景島シーパラダイス」や「称

名寺(庭園)、「横浜中華街」等の観光地もあります。大会とともに港街、横浜をお楽しみいただければ幸いです。



平成26年度 日本アディクション看護学会 研修会のお知らせ

日本アディクション看護学会員の皆様

日本アディクション看護学会では、昨年度と同様に研修会を4回シリーズで企画しています。

日程、講師等は確定しましたらホームページ上でご案内するとともに、会員の皆様には研修会のご案内について資料をご送付させていただきます。今回は、研修会の大きな内容とその予定についてお知らせいたします。お忙しいとは存じますが、会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

場所

1. 横浜市立大学福浦キャンパス
〒236-0027 横浜市金沢区福浦 3-9
TEL :045 - 787 - 2541
2. 一般社団法人日本精神科看護協会
東京研修センター
〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33
品川キャナルビル 7F
TEL : 03-5796-7033 FAX : 03-5796-7034

参加費

日本アディクション看護学会員	1,000 円/1 日
一般参加者	3,000 円/1 日

コースの内容

- 1 コース…双極性障害とアディクション
発達障害とアディクション
- 2 コース…虐待とアディクション
自傷行為とアディクション
- 3 コース…うつ病とアディクション
BPD とアディクション
- 4 コース…アルコールとアディクション
薬物依存症とアディクション

※全てのコースで講義と事例検討会を行います。皆様のご応募をお待ち申し上げます。

申し込み先（お申し込みはメール又はファックスでお願いいたします。なお当日参加も歓迎いたします。）

研修会担当

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町 4-2-11
東都医療大学ヒューマンケア学部看護学科
精神看護学 篠原百合子

E-mail : yuriko.shinohara@tohto.ac.jp

FAX 045-573-3840

《編集後記》

2014 年 6 月 21-22 日日本精神保健看護学会第 24 回学術集会、9 月 20-21 日第 13 回日本アディクション看護学会・学術集会、アディクション看護研修会のお知らせを掲載致しました。全国の会員が一同に会する機会が増えます。今年度も充実した年になると思います。

尚、事務局、ホームページの移転につい

て皆様にご周知頂きたく、もしご存じない方がいらっしゃいましたら、その旨お伝え頂きますようお願い申し上げます。また、お近くでアディクション学会、研修会が開催された際には、入会へのお誘いをお願い致します。

《事務局からお知らせ》

今年度より事務局とホームページが移転いたしました。

<http://jssan.kenkyuukai.jp/about/>での入会申し込みを中止いたします。ご了承ください。新しい URL をご覧ください。

<http://plaza.umin.ac.jp/~jaddictn/>

学会費未納の方は、振込用紙を同封させていただきます。年度内のお振込みにご協力お願いいたします。(現在会員数 176 名)



日本アディクション看護学会事務局
〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬 550

聖徳大学看護学部 日下研究室

【事務局 E-mail】

jadict-office@umin.ac.jp

日本アディクション看護学会補助機関誌

発行：平成 26 年 6 月 1 日

編集長：荒木とも子

発行者：日下修一

日本アディクション看護学会事務局